

問1 平安時代に遣唐使の廃止などを背景に栄えた、日本の風土に合わせた独自の文化を何という？

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 室町文化 4. 鎌倉文化

問2 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？

1. 清少納言 2. 紫式部 3. 和泉式部 4. 菅原孝標女

問3 平安時代初期に、唐で密教を学んで帰国し、高野山を拠点として真言宗を開いた僧は誰？

1. 最澄 2. 聖武天皇 3. 空海 4. 行基

問4 平泉の奥州藤原氏が、極楽浄土を表現するために建立した金箔の仏堂を何という？

1. 中尊寺金色堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 法隆寺金堂 4. 東大寺大仏

問5 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原頼通 3. 藤原良房 4. 藤原基経

問6 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原基経 3. 藤原良房 4. 藤原頼通

問7 国風文化の発展を支えた、漢字を簡略化して作られた文字を何という？

1. カタカナ 2. 梵字 3. かな文字 4. 漢字

問8 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？

1. 郡司 2. 目代 3. 太宰帥 4. 国司

問9 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？

1. 桓武天皇 2. 後醍醐天皇 3. 天武天皇 4. 聖武天皇

問10 平安時代末期、朝廷による平定が進んだ東北地方で、独自の勢力を築き上げた一族を何という？

1. 藤原北家 2. 奥州藤原氏 3. 平氏 4. 蘇我氏

問11 平安時代に、地方に赴任せずに京に留まったまま役職だけを持つ国司のことを何という？

1. 掾 2. 受領 3. 介 4. 遙任

問12 国風文化のなかで、漢字を簡略化して作られた文字を何という？

1. カタカナ 2. 漢字 3. 梵字 4. 仮名文字

問13 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？

1. 僧侶 2. 武士 3. 貴族 4. 農民

問14 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？

1. 法相宗 2. 浄土宗 3. 真言宗 4. 天台宗

問15 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？

1. 最澄 2. 円仁 3. 空海 4. 円珍

問16 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？

1. 嵯峨天皇 2. 桓武天皇 3. 光仁天皇 4. 聖武天皇

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国風文化	国風文化は、平安時代の中頃から後半にかけて貴族を中心に発達した文化です。それまでの唐風の文化から脱却し、日本の自然や風土、日本人の心情に適した形へと発展しました。仮名文字の発明により、文学や芸術が非常に豊かになったのが特徴です。
問2	答え 2 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問3	答え 3 空海	空海は遣唐使として唐へ渡り、恵果から密教の教えを授かりました。帰国後、嵯峨天皇から京都の教王護国寺（東寺）を賜るとともに、和歌山県の高野山を修行の拠点として真言宗を開きました。密教は、經典の言葉だけでは表せない深い教えを、仏像や曼荼羅、印や真言などを使って表現するのが特徴です。
問4	答え 1 中尊寺金色堂	中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った非常に豪華な造りです。奥州藤原氏の財力を象徴するだけでなく、戦乱の絶えない現世を離れ、平和な極楽浄土を地上に再現しようという願いが込められています。
問5	答え 1 藤原道長	藤原道長は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。この強力な血縁関係を武器に、政治の決定権を独占し、藤原氏による統治の最盛期を現出させました。
問6	答え 1 藤原道長	藤原道長はその摂関政治の頂点に立った人物です。娘の彰子を一条天皇の中宮にするなど、一族の女性を権力の中核に送り込みました。「この世をば…」で始まる望月の歌は、彼が自身の権力の絶頂期を月になぞらえて詠んだものとして非常に有名です。
問7	答え 3 かな文字	漢字の草書体を簡略化した「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」が普及しました。これにより、複雑な漢字を使わずに和歌や日記、物語などを自由に書けるようになり、文学表現の幅が大きく広がりました。
問8	答え 4 国司	国司は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。この職に就くことは、地方の富を吸収できるため、貴族たちにとって大変うまみのあるポストとされていました。
問9	答え 1 桓武天皇	桓武天皇は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。地方行政の主役である国司を中央から厳しく監視し、不正を防ごうとしました。また、蝦夷の平定にも力を注ぎました。
問10	答え 2 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、藤原清衡から始まる4代にわたる一族で、平泉を中心に強大な経済力と軍事力を持ちました。金などの産出や対外貿易によって莫大な富を蓄え、中尊寺金色堂に代表される華やかな文化を築きました。
問11	答え 4 遙任	遙任（ようにん）は、国司が自らは現地に行かず、代わりに代官である「目代（もくだい）」などを派遣して統治させる形態です。これにより国司は責任を回避しつつ収益だけを確保することができましたが、地方政治の腐敗を加速させる要因となりました。
問12	答え 4 仮名文字	仮名文字は、漢字の形をくずしたり、その一部を抜き出したりして作られた文字です。これにより、貴族たちは自分の感情を素直に表現できるようになり、和歌や物語の創作が盛んになりました。国風文化の発展を支えた最大の要因といえます。
問13	答え 2 武士	武士は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。彼らは互いに団結して武士団を形成し、朝廷の命を受けて反乱の鎮圧などを担うことで、次第に力を蓄えていきました。
問14	答え 3 真言宗	真言宗は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。呪文や曼荼羅（まんだら）を用いて悟りを開くことを目指す点が大きな特徴です。高野山にある金剛峯寺は、現在も真言宗の総本山として広く知られており、当時の貴族たちからも厚い帰依を受けていました。
問15	答え 3 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重んじる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問16	答え 2 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。